



小田原・平塚正教会だより

2016年4月号

2016年4月1日発行 第164号

司祭 デイミトリイ 田中 仁一

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1

TEL/FAX : 0465-22-2792 携帯 080-5074-6363

E-mail: holyspritodawara@gmail.com

日本ハリストス正教会教団 HP: <http://www.orthodoxjapan.jp/>

本教会 HP: <http://odawara-orthodox.com/>

郵便振替口座: 00270-6-15226



われらもろもろ うれい いかり あやうき まぬが ため
「我等 諸の憂愁と忿怒と危難とを免るるが為に
 しゅいの かみ なんじ おんちやう もつ われら たすけ
主に祈らん。神よ、爾の恩寵を以て我等を佑
 すく あわれ まも
け救い 憐み 護れよ。」 大連禱の第九の祈願文

聖体礼儀解説 (9) ～大連禱その八～

『人が初めて罪を犯したとき、彼はそれに伴う快楽を知ったが、同時にたとえようのない苦しみと悲しみをも味わうこととなった。本来、快楽は人間の本性にはない性質のものであるが、それゆえに、罪の当然の帰結として、人は悲しみを知るようになった。しかし、神は人が試みに苦しみことを許された。なぜなら、罪のために人がみずから被った傷が癒されるためである。』(表信者マクシモス) 2 ページへ



●大斎第三主日 聖十字架叩拝の主日聖体礼儀

4月3日(日) 10:00～(9:30 痛悔)

第3調 エウレイ 4:14-5:6 マルコ 8:34-9:1

●大斎第五主日 エジプトのマリヤの主日聖体礼儀

月例パニヒダ / 聖堂おみがき(午後)

4月17日(日) 10:00～(9:30 痛悔)

第5調 エウレイ 9:11-14 マルコ 10:32-45

●十二大祭 聖枝祭(花の主日)代式祈禱

4月24日(日) 10:00～10:45

祭日調 フィリッピ 4:4-9 イオアン 12:1-18

聖枝祭では聖にされた
 花を差し上げます。乾
 燥して、一年間ご自宅
 の祭壇に飾って下さい。



聖体礼儀解説(9)

つれ いや
～憂いは癒しの処方せん～

(表紙からの続き) 人が罪を犯したから、神は死と苦くるしみを人に与えて人を罰していると考えたとしたら、それは正教會的には正しい考えではありません。むしろ、神は罪によって病をわずらう人を癒すための薬として、死と苦を与えたのです。私たちには神の罰に見えることが、実は神の聖なる癒しであるのです。だから、聖人たちは苦を「聖なる薬」—罪の病を癒し、人に心の健やかさを再び与えてくれる薬—としてあえて受け入れました。聖人たちは、憂いを「徳の源」とさえ名づけました。つまり、全ての労苦は、はじめは喜ばしくない、悲しいもののようなのだが、後になると、それによって鍛えられた者たちに平安と義の果実を与えてくれるのです(エウレイ書 12:11 参照)。とはいえ、私たちは概して憂いや悲しみを受け入れられるほど精神的にも霊的にも強くはありません。それゆえ、聖金口イオアンは、悲しみが人を絶望に導かず、神が私たちから苦しみを遠ざけてくれるようにこの祈願文を作りました。

怒り—「神の怒り」もまた同様に、私たちの罪を癒す神の薬です。神の怒りを被ることによって、人は神の聖なる恵みを得られなくなります。そうすることによって、神は思いあがった人の意識に自分の弱さと謙虚さを学ぶ機会を与えてくれるのです。しかし、できれば私たちは神の怒りに触れる前に、自らの弱さを知り、神の人に対する思いやりを自覚する機会を持ちたいものです。

私たちは毎日、多くの危険が私たちの生活を脅かしていることを知ります。現状への不満、将来への不安、そしてストレスは、私たちが家の中にいても決して私たちに安心をもたらしません。私たちの心はいつも危機に瀕しています。そんな混沌とした世界にあって、平安と安心を得たいと思うならば、私たちは幼子のごとく父なる神を信頼すべきです。シリアの聖イサアクは、『幼子のごとき素直さと父なる神への信頼を持つ者は、蛇に近づき掴もうとも、決して傷つくことはない。その身体は神の恵みという見えない衣服を身にまとっている』と言います。私たちの人生の中で危機—それは今さまざまな形で私たちの生活を脅かしています—を実感するときこそ、神への信頼を改めて確認する絶好の機会です。父なる神への絶対の信頼こそ、危難を免れるための最も有効な処方せんです。

聖体礼儀には復活のハリストスが臨在しています。私たちは、聖なる門徒のように、復活の宴あすかに与るために聖堂に集まります。しかし、私たちは、いつも神を慕い焦がれるような心もちで聖堂に集まるわけではありません。むしろ、私たちはしばしば、怖れと不信をもって聖堂に集まります。たとえ、私たちが心の扉を閉ざしていても、ハリストスは私たちの心に入ってきます。そして、私たちに語りかけます、『私の平安をあなたたちに与える。あなたたちは心を騒がせてはならない。怖おじは気づいてはいけない』(イオアン伝 14:27)。

最近の出来事・消息

小田原 マルク荒井隆兄・マリヤ川村いづみ姉婚配式 3月12日(土)、午前11時より小田原・

聖神降臨聖堂にて行われました。前日の雪で箱根の山がうっすらと雪化粧する美しい景色の中、荒井家・川村家のご両家ご親族は、婚配機密というお二人への神様の祝福豊かな祈祷のために、聖堂に集まりました。イサク田中孝衛兄とタチアナ由美子姉が立ち会う中で指輪の交換がなされ、お二人は司祭による結婚への意思確認の後、婚配の栄冠を戴きました。新たな家庭の上に神様の導きがいつもありますように。幾年も！



婚配機密の後「おめでとう！」の声を浴びて

乾酪の主日代式祈禱・赦罪の晩課 3月13日(日)午

前10時より、代式祈禱を行いました。その後、参禱者は、翌日から始まる復活祭前の大齋おおものいみに備えて聖堂内の衣替えを行いました。この日から、普段の赤いランパーダは青に、赤や金の布地は黒や紫の布に変えられました。そして司祭が伊豆巡回から帰るのを待ち、午後4時から赦罪の晩課を行いました。司祭の赦罪から始まり12名の兄弟姉妹が共に赦しの言葉を交わして晩課を終えました。



柏久保 晩課 3月12日(土)午後6時から、乾酪の主日晚課を行いました。晩課の後、翌週から教会が大齋おおものいみに入ることを司祭が伝え、そのはじめに信徒は互いに赦し合うことから、「赦すゆる」という言葉についてその意味を語源であるギリシア語の「Συγγνώμηシグノーミ」から取り、講話をしました。それは上から視線で「許す」のではなく、心を相手と同じくし、同じ高さから「赦す」ということである、という内容でした。なかなか簡単なことではありませんが、だからこそ、私たちは誰よりも自らを低くし人となった神イイススハリストスをいつも心にとどめます。大齋おおものいみではそのハリストスの姿を見るでしょう。最も暗い所に降り、最も明るい輝きを放つ主ハリストスは、いつも私たちと共にいるのです。

静岡 責任役員会兼建設委員会進捗報告 3月初めからの解体工事について役員会・委員会で最終確認しました。作業開始前に改めて近隣住民、町内会長、教会関係者等に告知及び挨拶をすること、及

び境内地内の設備の一時的使用停止等について手配することなどを、建築担当の近藤健太兄が報告しました。またこの日、新聖堂建設の建築実務を担当する近藤健太兄が代表を務める「株式会社ナカノ工房」と静岡ハリストス正教会が正式に事業契約を結ぶことが、代表役員である司祭と責任役員の近藤執事長、近藤正美兄の立会いのもとで了承されました。解体工事終了後は、新聖堂及びイコノスタスの図面の最終調整と建設業者への見積りの手続きに入ります。

修善寺 聖体礼儀 3月13日(日)午前10時から、乾酪の主日聖体礼儀を行いました。この日は、7名が参拝しました。ご祈禱後は司祭が再び小田原で祈禱を行うため、慌ただしく昼食をいただき解散しました。三月半ばといえども、寒い日が続く伊豆の教会の庭でも花はまだ見られません。



修善寺 主の顕栄聖堂 花のつぼみはまだ固く→

平塚 平塚教会復活祭前墓地祈禱



↑ 重田執事長は司祭が祈禱する間、ずっと傘をさし続けて祈禱を支えました。



てくださった窪田ご夫妻に感謝いたします。

3月19日(土)午前10時より、行いました。前回の集会で墓地祈禱の廻り方を変更する話し合いをし、今年は平塚市営墓地に集合し、墓地祈禱を始めました。ところが当日は朝から雨。ザハリヤ横田道也兄のお墓に着いたときには大雨になりました。しかし、祈りの声は雨が強くなればなるほど大きくなり、力強くなりました。この祈りの声が届いたのか、この日最後の墓地祈禱となった土屋霊園の渡辺家の墓地では突然青空が広がり、春の陽気になりました。全てのご家庭の墓地祈禱を終えると同時に、正午を知らせるチャイムが鳴り響きました。その後昼食をとるため、窪田幸夫兄宅へ移動しました。ハリスティナ康子姉が昼食を準備してくださり、休ませていただくうちに雨で冷えた体が徐々に温まっていきました。この日お宅を解放し

献金報告

3/20 現在 日付は会計処理日です。ありがとうございました。

日付	氏名	摘要
3/13	荒井 隆兄いづみ姉	婚配献金
3/20	廣石 真太郎兄	パニヒダ献金

婦人会献金：

日付	氏名	摘要
3/13	荒井 隆兄いづみ姉	感謝献金

聖大週間ガイド (聖大週間の祈祷や諸活動、1時間だけでも構いません。遠慮なくご参加ください！)

4月25日(月) Matins / Hours / Presanctified 早課・時課・晩課・先備聖体礼儀 Divine Liturgy 10:00~13:00

4月26日(火) Matins / Hours / Presanctified 早課・時課・晩課・先備聖体礼儀 Divine Liturgy 10:00~13:00

4月28日(木) Coloring Eggs 卵染め・ケーキ包装 9:00~13:00

Twelve Gospels 聖大金曜早課(十二福音) 15:00~17:30

皆で卵を赤く染めたり、卵に絵を描いたりします。聖大金曜早課では主の受難にまつわる聖書の箇所を全て読みます。

4月29日(金) Lamentation 葬りの晩課 10:00~11:30

Matins of Holy Saturday 聖大土曜早課 15:00~17:30

葬りの晩課では、主を十字架から降ろして葬る場面を祈りと司祭の動きで表します。聖大土曜早課では主の埋葬を祈りの中で象ります。土曜日、特に男性の助けが必要です!! We need your help!

4月30日(土) Preparation for Pascha 復活祭準備 10:00~(午前中 till noon)

復活祭の紅卵・ケーキ注文受付中

卵(1個) 40円 ケーキ(1個) 200円

ご注文はマリーナ日比野恵美子姉まで

(電話 0465-34-5020) 締切: 4月24日(日)

※当日も販売しますが、数に限りがありますのでご了承ください。ご予約をお勧めします。

●卵染めをしてくださる方を求めています!

4月28日(木) 9時から始めます。

2016年教会共同墓地祈祷

2016年5月10日(火)

9時30分教会出発

富士霊園~御殿場地区

共同墓地に関心がある方もふるってご参加ください。湯河原・小田原地区・藤沢/鎌倉地区・東京地区の墓地祈祷予定は5/11から5/18に行う予定です。詳細は5月号に掲載いたします。

光栄なる主イイスハリストスの **PASCHA 復活祭**

2016年5月1日(日)

9:30~12:30

祝賀会:聖体礼儀後

※境内の駐車に限りがあります。車が境内に停められない時は、七枚橋交差点左折 30m 左手のコインパーキング等をご利用ください。Please use coin operated parking space, when the church park is full. We give you further information then.

 For KIDS
LET'S MAKE PASCHAL EGGS
復活祭こどもプログラム

ふっかつさい たまご
~復活祭の卵をつくろう!~

2016年5月1日(日)

10:00~11:00 (予定)

きれいな卵ができるよ!できあがった卵は神父さんに聖水をかけてもらおう!お昼ごはんの前には復活祭のおはなしをします。

【2016年4月】小田原・平塚ハリストス正教会月間活動予定表

日	曜日	祈祷・行事・集会	堂役	主日調/聖書の読み
1	金	[東京 神学校]		
2	土	主日前晩晩課(17:00)・執事定例連絡会		4/3 調:3調 使徒経:エウ4:14-5:6 福音経:マル8:34-9:1
3	日	大斎第三:十字架叩拝の主日聖体礼儀(10:00)	神谷(幸)	●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
4	月			
5	火	[私祈祷]		
6	水	[静岡]		
7	木	十二大祭 先神女福音祭		
8	金	[東京 神学校]		4/10 調:4調 使徒経:エウ6:13-20 福音経:マル9:17-31
9	土	[柏久保]		
10	日	大斎第四:階梯者聖イオアンの主日代式祈祷(10:00) ・ 聖歌練習[修善寺]	神谷(幸)	●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
11	月			
12	火			
13	水	早課・時課・晩課・先備聖体礼儀(10:00)		
14	木			
15	金	[東京 神学校]		4/17 調:5調 使徒経:エウ9:11-14 福音経:マル10:32-45
16	土	主日前晩祈(17:00)		
17	日	大斎第五:エジプトのマリヤの主日聖体礼儀・ 月例パニヒダ(10:00)・聖堂おみがき(午後)	山口(幸)	●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
18	月			
19	火			
20	水			●糖飯:山口 みち姉
21	木			
22	金	[東京 神学校]		4/24 調:祭日調 使徒経:フィリ4:4-9 福音経:イオ12:1-18
23	土	[静岡]		
24	日	十二大祭 聖枝祭(花の主日)代式祈祷(10:00)・会館/駐車場清掃 [静岡]	山口(幸)	●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
25	月	聖大月曜:早課・時課・晩課・先備聖体礼儀(10:00)		卵染め・復活祭準備のご奉仕をお願いします。ご祈祷の参加は一部でも遠慮なくご参拝ください。
26	火	聖大火曜:早課・時課・晩課・先備聖体礼儀(10:00)		
27	水	聖大水曜:復活祭準備		
28	木	聖大木曜:卵染め(9:30)・聖大金曜早課「十二福音」(15:00)		復活祭は5月1日9:30からです。
29	金	聖大金曜:葬りの晩課(10:00)・聖大土曜早課(15:00)・聖大ワシリイ聖体礼儀(23:00)		
30	土	聖大土曜:復活祭準備(10:00)		

[]内は司祭の活動

* 聖体礼儀に参拝し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう*

* ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。*



4月の永眠者一覧(敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
2日	リヤ	樋口 ハル	1967年	
2日	イオアン	紺野 雅典	1979年	紺野 雅章
2日	アンナ	荒井 品子	1978年	荒井 譲
3日	アレキサンドル	松田 保重		
3日	ウエラ	渡辺 コマ	1980年	渡辺 宏
6日	アンナ	小杉 富美子	1928年	小杉 英男
8日	イオナ	日比野 初五郎	1940年	日比野 勇
8日	イオシフ	窪田 辰五郎	1933年	窪田 幸夫
8日	ステファン	窪田 綱	1933年	窪田 幸夫
8日	伝教者フェオドル	山口 蕃	1992年	山口 晃
9日	イオアン	桑原 康一	1988年	
11日	パラスケワ	松尾 よ志	1986年	岡野 康子
13日	ニコライ	上野 貞一	1981年	上野 攻
16日	ニコライ	重田 鎔治	1990年	重田 仁
16日	マキシム	松川 良雄	1997年	松川 ゑみ
17日	長司祭ヴィサリオン	高橋 長七	1957年	松川 ゑみ
21日	エリザベタ	樋口 照子	2011年	
22日	ミハイル	中島 敬二	1944年	岡野 康子
24日	リュボフ	神谷 愛	1942年	神谷 幸夫
24日	アキラ	砂澤 二郎	1990年	
26日	ミトロファン	樋口 邦利	2014年	
27日	ハリサンプ	山本 富吉	1953年	山本 やす江
30日	エレナ	廣石 ミツ	1953年	廣石 利恵

今月の月例パニヒダは第三日曜日です。

聖堂は皆さんのお祈りの場、そして皆さんの たましい 霊が永遠に養われる場です。ローソクを灯して少しの間、ご家族のために祈りに来られるだけでも大変結構です。どうぞ遠慮なさらずお越しください。



せいしんししゅ 聖神使首ガウリイル

聖日憶日3月26日/4月8日(新暦)

この日は「聖神使首ガウリイル(聖天使長ガブリエル)の会衆祭」と呼ばれる祭である。聖天使長ガブリエルは生神女マリヤに神の子を産むことを伝えるため、それはすなわち全人類にとっての喜びを伝えるために神に選ばれた天使である。降誕祭のちょうど9か月前にあたる4月7日、私たちは生神女が受胎の告知を受ける「生神女福音祭」を祝う。この翌日、役割を務めた聖天使長ガブリエルに感謝を捧げるのがこの祭である。

聖天使長ガブリエルは全能の神に大変忠実な僕で、神の計画の中でも人に知らされるべき特に大切なことの多くは、この天使によって伝えられている。例えば、旧約聖書の『創世記』『出エジプト記』『レビ記』『民数記』『申命記』を書くよう聖預言者モイセイ(モーセ)に伝えたのもこの天使であり、イスラエルの民が苦難に遭うことを聖預言者ダニイルを通じて人々に知らせたのもこの天使であった。また、聖アンナの前に顕れて、彼女が生神女マリヤを産むこと、聖ザハリヤに前駆授洗イオアンが生まれること、そして、主イイススを産んだ生神女にしばらくの間エジプトに逃げているよう指示したのも聖天使長ガブリエルであった。さらに受難の前のゲッセマネの園で主イイススが祈っている時に彼を力づけるために神が遣わしたのも、主イイススが十字架から降ろされ墓



に葬られた三日後、墓を訪れた女性たちに「この墓は空である。彼は復活した」と墓前で宣言したのも聖天使長ガブリエルであった。

神がその意思による計画を果たすこと、また聖天使長ガブリエルが神の計画のために私たち人間と神との間でとりなしの役目を果たしていることを記憶して、教会は信じる心と愛をもって聖天使長ガブリエルに祈るよう私たちに呼びかけている。聖天使長ガブリエルは7月26日にも記憶される。

トロバリ(第四調): 天軍の首長ガウリイルよ、我等不当なる者は常に爾に願う、爾の祈禱を以て我等を其の光榮なる無形の翼の許に覆い、我等を護り給え。我等伏拜して爾に呼ぶ。天の軍の首長なる者よ、我等を苦難より救い給えと。

※トロバリはギリシア語からの翻訳です。